CentreCOM[™] 2000*Plus*シリーズ Windows[®]95**用ドライバのインストール**

CentreCOM RE2000/RE2000*Plus*シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとう ございます。

この冊子には、本アダプタをWindows95のもとで使用するための手順が記載されてい ます。本アダプタは、Plug and Playに対応していないアダプタであるため、セット アップには若干の注意が必要です。この冊子では、セットアップの手順を示しつつ、陥 りやすい障害の回避方法などのいくつかのポイントについて説明いたします。

記述内容

1	RE2000/RE2000 <i>Plus</i> 用ドライバのインストール	2
	ドライバの所在	2
	インストール手順	2
	注意	6
	ドライバの削除	6
2	トラブルシューティング	
	デバイスマネージャによる空きリソースの確認	
	RE2000/RE2000 <i>Plus</i> のハードウエア設定値の確認	10
	RE2000/RE2000 <i>Plus</i> のハードウエア設定値の変更	11
	注意	



1 RE2000/RE2000*Plus***用ドライバのインストール**

本アダプタの工場出荷時設定

本アダプタが下記の設定で出荷されています(デフォルト)。購入時のまま設定を変更 していないのなら、下記の値を使用してインストールしてください。デフォルト以外の 設定で使用する場合は、トラブルシューティングをご覧ください。

I/Oポートアドレス: 300-31F インタラプト(IRQ): A(16進)、10(10進)

ドライバの所在

Windows95には、本アダプタの32ビットNDISドライバが標準で添付されており、 RE2001/3/5/9、RE2001/3/5 *Plus*でご使用いただけます。

インストール手順

以下の手順で行います。例としてあげた画面イメージは、お客さまのパソコンにおける 表示と異なる場合がありますがご了承ください。

- Windows95をインストールします。既に、Windows95のインストールが終了している。または、プリインストール版の場合は、手順(2)に進んでください。
- (2) Windows95を終了させてから、パソコンの電源を切り、本アダプタをユーザーズ マニュアルに従ってパソコンに取り付けます。
- (3) インストールが終了したら、画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「設定(S)」から「コントロールパネル(C)」を選択します。
- (4) 表示されたコントロールパネルから「ネットワーク」アイコンをダブルクリック します。





(5) 「ネットワーク」プロパティシートから「ネットワークの設定」タブを選択し、
 「追加(A)…」ボタンをクリックします。

10-3				2
ネットワークの設定コーサー情報	アウセス権のう	[理]		
現在のネットワーク構成した				
í				
			_	_
通加公	向。即於五)		フロハティ化	
優先的)に09/オンする				
				-
ファイルとフランタの共有(日).				
- 112119				
				_

図2

(6) 「ネットワーク構成ファイルの追加」ダイアログで「アダプタ」を選択し「追加 (A)…」ボタンをクリックします。



図3

(7)「ネットワークアダプタの選択」ダイアログの「製造元(M)」で「Allied Telesis」、「ネットワークアダプタ」で「ATKK RE2000」を選択し「OK」をク リックします。製造元に「Allied Telesis」に似た「Allied Telesyn」という表示 がありますが、間違えずに「Allied Telesis」を選択してください。

キットワーク アダフラの 進択	×
A-1:937126 01:1/420	◦たキャトワー9 79'ブ9をラソッラして、[0k]を押してください。 こ /xト−& ディスウがある場合は、[ブィスウ使用]を押してください。
製造元(例) ● (他出された?o+?o+ ● 30cm ● Acton ● Advenced Vicro I ● Aified Telesia ● Aified Telesia	to the Recool
	ディ23重用(値)
	CKC 5+2±4

図4

- (8) 「ネットワーク」プロパティシートに「ATKK RE2000」が表示されます。「現在のネットワーク構成(N):」で「ATKK RE2000」を選択し、「プロパティ(P)」ボタンをクリックしてください。
- †1 「300」は、本アダプタの工場出荷時設定(デフォルト)です。本アダプタの設定が不 明の場合や、他の値に変更したい場合は、本冊子のトラブルシューティングの項目をご 覧ください。

ットワークの設定 ユーサ'ー情	(1) アクセス権の営用	1	
現在のネットワーク構成した	4/7/4		-
NetWore 2-17-5 55	4724		-
PATRIC RE2000			_
1			
•			<u> </u>
道加(A)	ANR(B)	7121	7(@)
優先的にログオンする			
Microsoft \$217-9 954	7.4		2
ファイルとブリンタの共有の	0-1		
一般明			
キットワーク アダンうは、こん	ニュータをネットワークにお	理的に接続	67-6
		1	0.0000000

図5

(9) 表示された「ATKK RE2000のプロパティ」プロパティシートの「リソース」タ プをクリックしてください。本アダプタのI/Oポートアドレスが「300」^{†1} に設 定されている場合、「240-24F」の横にある ボタンをクリックし「300-30F」にあわせて、「OK」をクリックしてください。

ATKK RE2000 ፓ ኪሳ ችለ	? ×
ドラハバの種類 バイボ 詳細設定 デース	
このわけワーク アダウブタを使うには、次のカート	ATKK RE200007D/17/ ? X
с ў .	ドラハシの種類「ベイオ」「詳細設定「リワース」
(4字の過剰の)・ (現実)(字の)	このネートワーク アヴブタを使うには、次のメードウェア設定が必要 です。
1/0 #"~+ ?+"b2(0): 240 - 24F	
	設定の種類(1): 基本設定 0 ▼
	1/0 #1~F 7F162(g): 300 - 30F 🗶
₩印は、現在のハードウェア設定を示します。 *印は、ほかのハードウェアとの競合を示します	
ОК	♥印は、現在のハードなア酸症を示します。 ★印は、ほかのハードなアとの酸合を示します。
2 6a、6b	CK ++>/24

(10) Windows95の供給メディアを要求されます。

CD-ROMの場合は、「ファイルのコピー元(C):」で「drv:¥WIN95」を入力 してください。画面では、CD-ROMドライブ(drv:)をE:と仮定します。

ディスクの挿入		
Windows 95 CD-ROM ういんの付いたディスクを挿入して [OK	1 ★180 マイドコ \ ファイルのユピー	×
ОК	Windows 95 CD-ROM 上のファイル netapi.dll が見つかりませんでした。	ОК
	 Windows 95 CD-ROM を選択したドラクバロ 入れて、[OK] を押してください。	++>t
		λ\$+97°(<u>S</u>)
	ファイルのコピー元(2):	詳細(1)
図7、8	E:#WIN95	

プリインストール版Windows95の場合は、「ファイルのコピー元(C):」で 「drv:¥windows¥options¥cabs」^{†2}を入力してください。通常、drv:はC:とな ります。

フロッピーディスクの場合は、指示された番号のディスクをフロッピードライブ に入れ、「ファイルのコピー元(C):」で「A:¥」を入力してください。

(11)「システム設定の変更」が表示されます。「今すぐ再起動しますか?」という問いに 対して、「はい(Y)」をクリックしてください。以上で本アダプタ用のドライバの インストールは終了です。再起動以後、上記手順の設定が有効となります。

システム設定の変更 🛛 🕅			
新しいいートウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。			
	今すぐ再起動しますか?		
	LILIZ(W)		

🛛 9

(12) お客様のネットワーク環境に応じて、使用するプロトコル、クライアントなどの 設定を行ってください。これらの設定は、「コントロールパネル」の「ネットワー ク」を起動することにより、行うことができます。

注意

Windows95を使用する上でI/Oポートアドレスに「300」を指定する場合、手順(9)

の図のように「300 - 30F」と16ビットをデコードするよう表示されますが、ハード ウェアリソースとしては「300 - 31F」の32ビットのフルデコードになります。<u>他社</u> 製のハードウェアデバイスなどを追加する場合、「310 - 31F」のI/O領域を指定しな いようご注意ください。

ドライバの削除

インストールされている本アダプタ用ドライバの削除は以下の手順を実行してください。

- (1) 画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「設定 (S)」から「コントロール パネル(C)」を選択します。
- (2) 表示されたコントロールパネルから「システム」アイコンをダブルクリックします。
- (3) 「システムのプロパティ」プロパティシートの「デバイスマネージャ」タブをク リックし、「ネットワークアダプタ」の下に表示されている「ATKK RE2000」 を選択して、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。

୬୵テムのプロバティ <u>?</u> ×
「情報」 デバイス マネージャ ハートウェア環境 「ハフォーマンス」
 → 2CD-ROM → CD-ROM → C + ホート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



(4) 「システム設定の変更」が表示されます。「今すぐ再起動しますか?」という問いに 対して、「はい(Y)」をクリックしてください。再起動以後、本アダプタのドライ バが削除された状態となります。

2 トラブルシューティング

本アダプタがうまく動作しない原因のほとんどは、パソコンや他の拡張アダプタと本ア ダプタのリソース(I/Oポートアドレス、割込み要求の設定)が重複しているというも のです。以下に設定重複が原因となっているトラブルを回避するためのアウトラインを 示します。このアウトラインをもとに再度設定の確認をしてください。

- [1] パソコンの空きリソースを確認します。
- [2] 本アダプタをパソコンに取り付け、本アダプタの設定状態(本アダプタが使用するリソース)の確認を行います。また、必要があれば設定の変更を行います。
- [3] 本アダプタ用ドライバのインストールを行います。

デバイスマネージャによる空きリソースの確認

Windows95で既に使用されるハードウェアデバイスのリソースは、以下の手順で確認 することができます。ここで確認されたリソースを把握した上でデバイスの追加を行う ことをおすすめします。

 (1) 画面左下の「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」でコントロールパ ネルを開きます。





(2) 「システム」アイコンをダブルクリックし、「システムのプロパティ」プロパ ティシートの「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

ንአታፈወንን ኪላ 'ታፈ	×
「情報 デバイスマネージャ」ハードウェア環境 ハウォーマンス	
● 種類別に表示(①) C 接続別に表示(②)	
D/13-9 D-ROM D/254-71/2 D-ROM D/254-71/2 D/257 D/25 D/2	
711ハ'ティ(円) 更新(生) 削除(生) 印刷(い)	
ОК ++/2/	

図12

(3) 「コンピュータ」アイコンを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。パソコンが既に使用しているリソースの一覧である「コンピュータのプロパティ」リソースシートが現れます。図11では、割り込み要求(IRQ、インタラプト)の使用状況を表示しています。「I/Oポートアドレス(O)」ラジオボタンをクリックすれば、既に使用されているI/Oポートアドレスの一覧が表示されます。

一覧の中に表示されていない割り込み要求(IRQ)、I/Oポートアドレスの数値 は、RE2000/RE2000 *Plus*で使用可能です。

コンピュータのフプロハプティ	? ×
リソースの表示(リソースの予約)	
 ・ ・ ・	
設定現在のハートウェア	
■ 00 システム タイマー	
106 日本語 (A01) キーボート (Ctrl+英数)	
02 フロケラミング可能な割り込みコントローラ	
」→ 03 通信ホート (COM2)	
Ø04 通信ボート(COM1)	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
07 _ ንሣンቃ ポート (LPT1)	
🔜 08 システム CMOS/リアル タイム クロック	- I
ОК	キャンセル

RE2000/RE2000Plusのハードウエア設定値の確認

「本アダプタの設定値を変更したことがあるのだが現在の値を忘れてしまったので確認 したい」場合、本製品に添付のドライバディスクに含まれる「CFG2000.EXE」で行い ます(本アダプタ上にはスイッチやジャンパーピンなどによるハードウェア設定はあり ません)。

- (1) パソコンに電源を投入します。
- (2) 画面に「Starting Windows95…」または「Windows95 を起動しています…」 というメッセージが表示されたら、キーボードの「F8」キーを押します。
- (3) 「Command prompt only」または「コマンドプロンプトのみ」を選択しパソコンを起動します。
- (4) パソコンのフロッピドライブにドライバディスクを挿入します。
- (5) ドライブに移動しCFG2000.EXE⁺¹を起動します。ここでは、フロッピードライ ブをA:と仮定します。

C:¥>**A:** A:¥>cfg2000

- (6) メインメニューから「LAN Adapterの設定変更」を選択します。
- (7) 「Auto Scan Start」を選択してください。該当する I/O ポートアドレスを見つ けだすと現在設定されている設定値を表示します。「Auto Scan Start」は選択 項目の一番最後にあります。
- (8) メモなどにI/OポートアドレスとIRQの値を書き取ってください。この数値を「2 RE2000/RE2000Plus用ドライバのインストール」の手順(9)で設定します。
- (9) 確認が終了しましたら「ESC」キーを押して「CFG2000」を中断します。

^{†1} CFG2000.EXEの詳細に関しては、ドライバディスク内の README.1ST で確認してく ださい。

RE2000/RE2000Plusのハードウエア設定値の変更

「他のデバイスとの重複を避けるための設定値の変更をする」場合、本製品に添付のド ライバディスクに含まれる「CFG2000.EXE」で行います(本アダプタ上にはスイッチ やジャンパーピンなどによるハードウェア設定はありません)。

- (1) パソコンに電源を投入します。
- (2) 画面に「Starting Windows95 …」または「Windows95 を起動しています …」
 というメッセージが表示されたら、キーボードの「F8」キーを押します。
- (3)「Command prompt only」または「コマンドプロンプトのみ」を選択しパソコンを起動します。
- (4) パソコンのフロッピドライブにドライバディスクを挿入します。
- (5) ドライブに移動しCFG2000.EXE^{↑1}を起動します。ここでは、フロッピードライ ブをA:と仮定します。

C:¥>A: A:¥>cfg2000

- (6) メインメニューから「LAN Adapterの設定変更」を選択します。
- (7) アダプタに現在設定されている I/O ポートアドレスの値を選択します。値が不明の場合は、「Auto Scan Start」を選択してください。「Auto Scan Start」は 選択項目の一番最後にあります。
- (8) I/Oポートアドレスを変更する場合、新たな設定値を選択します。I/Oポートアド レスの変更を行わない場合は、現在の設定値を選択します。
- (9) IRQを変更する場合、新たな設定値を選択します。IRQの変更を行わない場合は、 現在の設定値を選択します。この数値を「RE2000/RE2000Plus用ドライバのイ ンストール」の手順(9)で設定します。
- (10) 設定が終了したらパソコンの電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。 「Ctrlキー」+「Altキー」+「Deleteキー」で行うソフトウェアリセットでは、 本アダプタに対する新たな設定が有効化されません。

注意

本アダプタと重複するリソースを使用しているパソコン、ハードウェアの設定確認や変 更ができないことがあります。この場合は、本アダプタを他のパソコンに取り付けて確 認、設定の作業を行ってください。

.

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライド テレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または 全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も 負いかねますのでご了承ください。

©1996 アライドテレシス株式会社

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の商標です。

PC/TCPは、米国FTP Software, Inc.の商標です。

NetWareは、米国 Novell,Inc.の商標です。

Sunは、米国Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。

Windows、MS-DOS、Microsoftは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。 その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商 標または登録商標です。